※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１６

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「言語文化」　（数研出版）						
副教材等	新国語総合ガイド五訂版（京都書房）・言語文化の基礎学習（尚文出版） 九訂版　読解を大切にする体系古典文法（数研出版）・四訂版　読解を大切にする体系古典文法準拠ノート（数研出版）・新版 意味から学ぶ頻出漢字 3000（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題に対して、自ら考えたり、周囲の人と協働しながら、考える活動に積極的に取り組みましょう。
・様々な文章に触れ「読む能力」を向上させるとともに、相手に自分の意思を的確に伝える力を高め、自分の思いや考えを深めましょう。
・家庭学習については、週末・長期休暇中などに適宜課題を課し、所定の期日までに提出を求めます。最後まであきらめずに取り組みましょう。授業ノートやプリントについては板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自分で気付いたこと、大切だと思ったことなどを板書の欄外にメモを取り、理解を深める工夫をしましょう。

２　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
⑴ 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
⑵ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに感じたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
⑶ 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、その特質を理解し適切に使っている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで他者と関わりをもち、我が国の言語文化を大切にして、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・場面の展開に沿って、登場人物の心情や変化を読み取る。 ［教材］『羅生門』 芥川龍之介	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、場面ごとの人物の心情の変化を読み取ろうとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・古文の仮名遣いや、古文特有の言い回しに慣れる。 ・話のおもしろさを味わう。 ［教材］『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表されているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を理解している。 c：古文の学習に興味をもち、物語の展開や話のおもしろさを理解しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・古典特有の表現に慣れる。 ・物語における登場人物の描かれ方について考える。 ［教材］『竹取物語』 「天人の迎へ」 「なよ竹のかぐや姫」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：平安時代の成人の儀式について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・作中より作者が感じる季節の移ろい、景物、年中行事を読み取る。 ［教材］『徒然草』 「つれづれなるままに」 「神無月のころ」 「ある人、弓射ることを習ふに」 『枕草子』 「ありがたきもの」 「雪のいと高う降りたるを」	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章中の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：作品に興味をもち、自然の情景に対する作者の感覚や、作者の人物像をとらえようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・登場人物の心情や変化を読み取り、文脈の中で形成される言葉について考える。 ［教材］ 『サラバ！』 西　加奈子	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・短歌・俳句に親しみ、表現の特徴を理解する。 ・作品にうたわれている情景や心情を読み味わう。	a：我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 b[書]：「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト

※令和４年度以降入学生用

二学期	［教材］ 短歌 俳句	構成、展開や文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。 c：短歌・俳句に興味をもち、作品にうたわれている情景や心情を詠み味わおうとしている。		ノート	振り返りシート
	・それぞれの歌を声に出して読み、和歌のもつ韻律に親しむ。 ・和歌の表現の特徴について理解を深める。 ［教材］『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	a：本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考えを深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：和歌を粘り強く読み解き、学習の見通しをもって主題について考察しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解する。 ［教材］『城崎にて』 志賀直哉	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・漢文と我が国の言語文化の関わりについて関心をもつ。 ［教材］『漢文　入門』 「入門一」 「入門二」	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文の学習に興味をもち、漢文と我が国の言語文化の関わりについて関心をもっている。	定期考査	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・漢文訓読のきまりを理解する。 ・孔子や孟子の名言に親しみ、現代との関わりについて考えを深める。 ［教材］『狐借虎威』 『朝三暮四』	a：我が国の言語文化の特質や外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解をしている。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 c：漢文訓読のきまりを理解しようとしている。 ・故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	定期考査	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・場面の展開に沿って、登場人物の心情や変化を読み取る。 ［教材］『戦国策』 「管鮑之交」 『十八史略』 「先従隗始」 「鶏口牛後」	a：我が国の言語文化の特質や外国の文化との関係について理解すること。 ・古典の世界に親しむために、作品やの歴史的・文化的背景などを理解すること。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について、自分の考えをもっている。 c：作品に興味をもち、登場人物の関係や話の展開をとらえようとしている。 ・故事成語の由来に興味をもっている。	定期考査	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・詩の表現の特徴と内容を読み取る。 ・翻訳の工夫を理解する。	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト

※令和４年度以降入学生用

	［教材］『サーカス』 中原中也 『I was born』 吉野弘	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[書]:「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:詩に興味をもち、その表現の特徴と内容を読みとろうとしている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句が持つ文化的背景を積極的に調べ、学習課題に沿って発表しようとしている。		小テスト	振り返りシート
三学期	・旅にでるまでのならわしについて知る。 ・日記の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考える。 ［教材］『土佐日記』 「門出」 「帰京」	a:古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 b[読]:「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 c:作品に興味をもち、日記という形態や書き手の設定に着目しながら読もうとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・漢詩の形式や表現の特徴を理解する。 ・自然・友情をうたった詩を読み味わい、表現の工夫を理解する。 ［教材］『静夜思』 『山行』 『送元二使安西』 『月夜』 「紅のうつろい」	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、五感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c:自然・友情をうたった漢詩に興味をもち、表現の特徴を理解しようとしている。 ・教材本文の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	定期考査	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・近現代に書かれた戦争文学の背景や舞台について知り、その作品が描いているものについて考える。 ［教材］『沖縄の手記から』 田宮虎彦	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができている。 c:近現代に書かれた戦争文学を積極的に調査し、学習課題に沿って発表しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・『平家物語』に特徴的な文体のリズムを味わう。 ・登場人物の会話や行動を整理し、どのように描かれているかを読み取る。 ［教材］『平家物語』 「木曾の最期」	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:「書くこと」において、これまでに学習した単語の意味、文法の法則をふまえて、正しく通釈することができる。 c:作品に興味をもち、登場人物の人物像や文体の特徴をとらえようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 小テスト 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間
・書くこと　…　（　１５　）時間
・読むこと　…　（　９０　）時間